

クラッシー

CLASSY

発行 筑後八女地区 西日本新聞エリアセンター
企画 イースタンコミュニケーションズ
印刷 東兄弟印刷所 TEL 0943-24-2111
八女市祈祷院 5 6 3 〒834-0025
HP : www.wing8.com/dc-city-yame/

「クラッシー」は毎月発行します。紹介したい地域の行事や趣味のサークル、愉快的仲間達その他読者を楽しくさせ、元気づけ人や社会のお役に立つ原稿を募集します。

12 DEC

	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
心配ごと相談（八女市） 八女市社会福祉会館 12月1日・15日 黒木町ふじの里 12月1日・15日 上陽町地域福祉センター 12月8日・22日 立花町かがやき 12月8日・22日 法律相談（要予約） 八女市社会福祉会館 12月10日 黒木町ふじの里 12月17日 上陽町地域福祉センター 12月24日 司法書士相談 黒木町ふじの里 12月10日 八女市社会福祉会館 12月17日 筑後市 心配ごと相談 毎週木曜日／総合福祉センター 健康に関する総合相談 毎週金曜日／筑後市立病院			1 10月26日 大安 若	2 27日 赤口 中	3 28日 先勝 中	4 29日 友引 大 いわいゼミナール (岩戸山歴史資料館)
5 30日 先負 大 松尾弁財天縁日（立花町）	6 11月1日 大安 ●大	7 2日 赤口 大	8 3日 先勝 中 べんがらの日（べんがら村） なんでも人権相談所 (八女市立花市民センター) (八女市役所星野支所) (筑後市勤労者家庭支援施設)	9 4日 友引 中 なんでも人権相談所 (八女市黒木地域交流センター) (広川町はなやぎの里)	10 5日 先負 中 なんでも人権相談所 (八女市社会福祉会館) (八女市地域福祉センター)	11 6日 仏滅 中
12 7日 大安 小	13 8日 赤口 ●小 かまど神社きせる祭 (筑後市溝口)	14 9日 先勝 小 筑後市美術展 ～19日 (サザンクス筑後)	15 10日 友引 長 社会保険個別相談会 10：00～15：00（八女商工会議所）	16 11日 先負 ○若	17 12日 仏滅 中 定例法律相談会（要予約） 10：00～12：00 (八女商工会議所) ☎22-5161	18 13日 大安 中
19 14日 赤口 大 矢原グランドウオーク (吉田ウオーキングクラブ) 岩戸山古墳～石人山古墳 (八女歩こう会)	20 15日 先勝 大	21 16日 友引 ○大	22 17日 先負 大 不動産に関する何でも 相談会 13：00～15：00 (八女商工会議所)	23 18日 仏滅 中 天皇誕生日	24 19日 大安 中	25 20日 赤口 中 人生史サークル黄檗の会 (いわ井)
26 21日 先勝 中 お風呂の日（べんがら村） (グリーンピア八女) (温泉館きらら) (三加和温泉) 滝の宮不動尊縁日 (上陽町)	27 22日 友引 小	28 23日 先負 ●小	29 24日 仏滅 小	30 25日 大安 長	31 26日 赤口 若 カウントダウン in 船小屋 (23：00～船小屋若宮神社)	くろぎふるさと日曜日 毎週日曜日 上陽ふるさと市 毎週土曜日

ふじの里の中にあるピコロの運動会を見学させてもらった。ピコロとはイタリア語で「とても小さい」の意味、子育て中の方が気軽に集い交流を図る場である。種目は、ナイスシュート・よいいどん・それパクリ・親子でシュート・イタイイタイのとかんでいけ、どれも子ども達の好きな種目である。お父さん、お母さん、保育士さんと一緒にやって「キャツ、キャツ」と競技に熱中し、元氣いっぱいだ。風船も子ども達と競争で逃げまわっているように見えた。ホールいっぱい拍手が響きほほえましい情景から元氣をもらって私も童心にかえり心あたたまった。町外からも参加してあった。

地域交流センター
ふじの里を訪ねて

残る暦は一枚。年用意にかからねばならぬ師走。掛け放しで過ぎた神社庁暦、庚寅平成二十二年の分を改めて見なおす。冬至には、中風除けに南瓜を食べ、柚子風呂にひたるなどの行事解説。わが運勢、八白土星は「苦勞もあるが、全力をあげて目標に突進すれば報われる隆盛運」こんなものにと笑うなかれ。人間暗示にでもかけられて、妙に力湧く。儲け話や投資は話半分に聞いておくこと。意外な好展開が期待できそう。▼さて過ぎた霜月十一月は祭りごと多彩。四日、福島明永寺にて「映画を楽しむ八女・筑後の会」結成の件。先般八女一円での『生命の山河』上映をきっかけにという談義。▼八知山のお稲荷さんまつり。七日。このたびは別件生じ、わが作詞の、奥の院万点音頭の舞踊拝見できず心残り。

天宮ふんふり
小さな明りを灯し続ける
詩人 椎窓 猛

そしていろいろ考えさせられた。「心を育てる」とはこんなことだ。心の教育の原点だと思った。親子の絆も深まる。子ども達の心の財産となり町の財産となるだろう。同センター(田形一人所長)内にある交流プラザは年齢を問わず地域の人達が憩いを求めて集まる場である。一人で来てもすぐ仲間ができて、みんなと打ち解け親しくなり楽しく語り合つて、笑いが絶えない。「フツ」になりかけている一人暮らしの人がここに来ると明るく笑うようになり、病氣もしないという。「ここは楽しいですよ」とみんな言われる。ニコニコと話しかけられ本当に楽しい気分になった。これからの時代は、こんな場が必要と思う。
(黒木町)月足美智子

▼十一日。校歌作詞の古賀市花見小学校創立20周年記念祝賀へ。あれから二十年の歲月。立派に作成された記念誌を頂き、感無量。菜の花いろの学校”時計台の大きな針が光っていた。▼十三日、村の奥、桑取藪にて、明治初年開塾の江崎清先生を語る会。現在、この村落からの登校児童生徒一名も無しと三鶴会長の挨拶。文久年代以来の幟りが秋風にはためくが里山寂寥。如何にすれば子供の歓声湧きたつ村へ復活するや。▼十四日。八女津媛神社、錦秋もみじまつり”この回から、茶山唄等で知られた民謡家栗原晨護氏を偲ぶ会も併せて開催、盛況。村特有の唄などの伝承保存の方策も考慮の要を感じず。▼十九日。大分由布院で開催の放浪画家山下清展参観。清が遺してくれた小さな明りを灯し続けることを願つてとの趣旨。ちぎり紙絵を見ながら、知的障害児と言われながらもこの才はなんとすばらしいことかと感服。文章もまた。